

2024 年卒

7 月 1 日時点の就職活動調査 <速報>

キャリアス就活 2024 学生モニター調査結果 (2023 年 7 月発行)

2024 年卒業予定者の採用選考が 6 月 1 日に正式に解禁されてから 1 カ月が経ち、就職採用戦線は大きな山を越えた。7 月 1 日現在のキャリアス就活・学生モニターの就職活動状況について調査を行ったところ、内定率は 8 割台後半に達していることがわかった。

今月も内定状況のほか多岐にわたる項目を調査したが、取り急ぎ主要指標のみ紹介したい。

1. 7 月 1 日時点の内定状況

- 内定率は 86.0%。前年同期実績 (84.9%) を 1.1 ポイント上回る
- 就職活動終了者は全体の 74.3%。継続者は「内定あり」「内定なし」を合わせて 25.7%

2. 就職活動継続学生の今後の方針

- 「新たな企業を探しながら、幅広く企業を広げる」が 6 月より大きく増加 (22.9%→32.4%)

3. 就職環境への考え (売り手市場の実感)

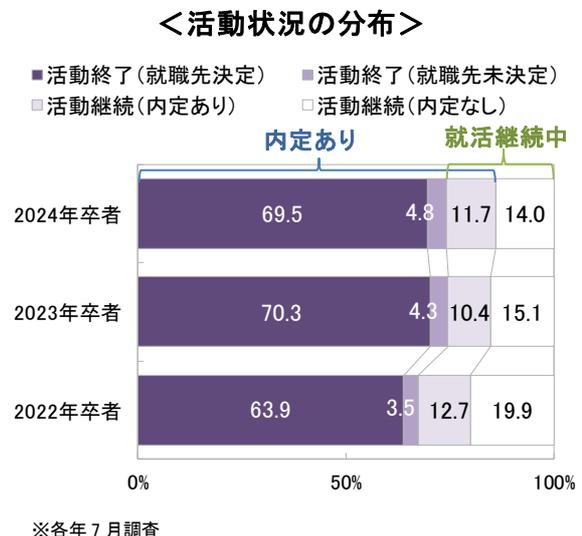
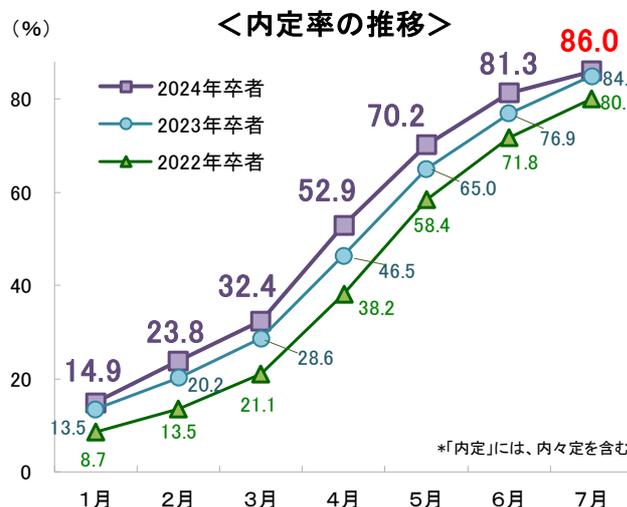
- 売り手市場だと感じる学生は全体の半数強 (55.9%)。コロナ禍前と同水準に

1. 7 月 1 日時点の内定状況

7 月 1 日現在の学生モニターの内定率は 86.0% で 8 割台後半に到達した。今期の内定率は序盤から前年同月を上回るペースで推移してきたが、この 7 月も引き続き前年実績 (84.9%) を上回った。ただ、その差は 1.1 ポイントと僅差にとどまる。

調査時点で就職先を決定して就職活動を終了した者の割合はモニター全体の 69.5%。複数内定を保留しているなど就職先未決定である者 (4.8%) を合わせて、活動終了者は 74.3%。内定率は先月調査 (81.3%) から 4.7 ポイント増にとどまるが、就活終了者の割合は大きく増加 (58.1%→74.3%)。選考解禁後の 1 カ月間で就職戦線が山場を越えたことを示している。

活動継続者は「内定あり」(11.7%)、「内定なし」(14.0%) を合わせて 25.7%。



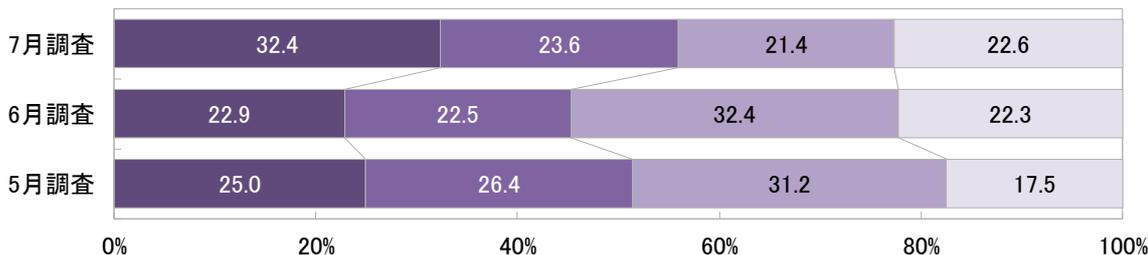
2. 就職活動継続学生の今後の方針

内定保持者を含め就職活動を継続している学生 (全体の 25.7%) に、今後の方針・戦略を尋ねた。

6 月調査では「現在選考が進んでいる企業に絞って活動する」が 3 割を超え最も多かったが、7 月は 2 割台に減少。代わりに「新たな企業を探しながら、持ち駒企業の幅を広げていく」が増えた (22.9% → 32.4%)。夏採用などに向けて、視野を広げて仕切り直そうとする動きが見られる。

<今後の就職活動の方針・戦略>

- 新たな企業を探しながら、持ち駒企業の幅を広げていく
- これまで興味をもった企業(エントリーした企業)を中心に活動する
- 現在選考が進んでいる企業に絞って活動する
- 志望度の高い企業に絞って活動する

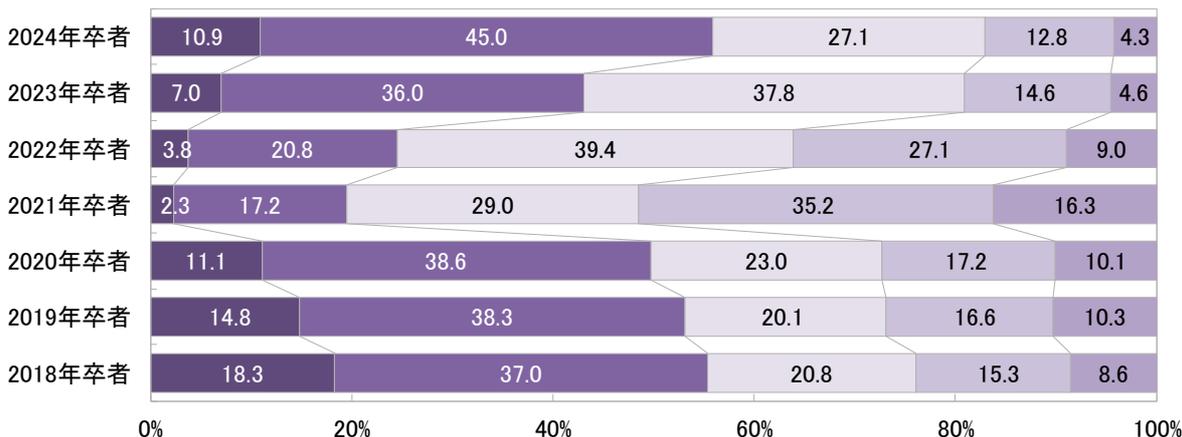


3. 就職環境への考え (売り手市場の実感)

就職活動を通して、自分たちの就職環境をどう捉えているのかを全員に尋ねた。「完全に売り手市場だと思う」「やや売り手市場だと思う」を合わせると 55.9%。前年調査 (計 43.0%) より約 13 ポイント増加し、コロナ禍前の売り手市場と言われていた頃と近い数字を示した。

<就職環境への考え(売り手市場の実感)>

- 完全に売り手市場だと思う
- やや売り手市場だと思う
- どちらでもない
- あまり売り手市場だと思わない
- まったく売り手市場だと思わない



調査概要

- 調査対象 : 2024 年 3 月に卒業予定の大学 4 年生 (理系は大学院修士課程 2 年生含む)
- 回答者数 : 1,238 人 (文系男子 381 人、文系女子 379 人、理系男子 327 人、理系女子 151 人)
- 調査方法 : インターネット調査法
- 調査期間 : 2023 年 7 月 1 日~5 日
- サンプリング : キャリタス就活 2024 学生モニター